

ひと。場所。約束。

2025年 年次報告書



目次

- 1 会長メッセージ
- 5 2025年の財務実績の概要
- 6 昨年の振り返り
- 10 私たちのコミュニティ
- 16 私たちの行員
- 20 顧客プロフィール
- 26 連結損益計算書
- 27 連結貸借対照表
- 28 株価の相対的パフォーマンス
- 29 継続的な配当金の支払い
- 30 エグゼクティブコミッティおよび
オペレーティングコミッティ
- 32 取締役会
- 33 株主情報

表紙

4世代にわたり100年以上受け継がれてきたスチュワードシップによって形作られてきた場所、Kahuku Farmsズの農家、Clyde Fukuyama。道端の農産物直売所として始まった取り組みは、信頼と共通の目的に基づく永続的な関係性を通じて、成長を遂げられました。それは、日々サービスを提供する人々と場所に対してバンク・オブ・ハワイが果たしている約束を体現しています。すなわち、個人の力を引き出し、地域社会を尊重し、関係性をより強固なものにしていく姿勢です。

© 2026年、バンク・オブ・ハワイ・コーポレーション。Bank of Hawaii®はバンク・オブ・ハワイの登録商標です。Bankoh®はバンク・オブ・ハワイの登録サービスマークです。Bank of Hawaii'iのロゴおよびBank of Hawaii'iはバンク・オブ・ハワイの登録商標です。Bankoh Advisorsは、Cetera Investment Servicesのマーケティング上の名称です。証券および保険商品は、FINRA/SIPCのメンバーであるCetera Investment Services LLCを通じて提供されます。Ceteraは、他のいかなる記載主体とも異なる独立した所有関係の下にあります。所在地：130 Merchant St, CC#888, Honolulu, HI 96813。投資商品：FDIC/NCUSIFの保険対象外 | 元本割れの可能性 | 金融機関による保証なし | 預金ではない | 連邦政府機関による保証なし。

Allpoint®は、ATM National, LLCの登録商標です。Hawaiian Airlines®は、Hawaiian Airlines, Inc.の登録サービスマークです。VISA®は、Visa International Service Associationの登録商標です。Mastercard®は、Mastercard International Incorporatedの登録商標です。Apple®、App Store®および Apple Pay®は、Apple Inc.の登録サービスマークおよび商標です。Samsung Pay®は、Samsung Electronics Co., Ltd.の登録サービスマークおよび商標です。Google Pay®およびGoogle Play®はGoogle LLCの登録サービスマークおよび商標です。Zelle®は、Early Warning Services, LLCの登録サービスマークです。Microsoft®、Microsoft 365®およびCopilot®は、Microsoft Corporationの登録サービスマークです。本報告書（印刷物およびオンライン）に記載されているその他すべての商標およびサービスマークはそれぞれの所有者に帰属し、本報告書で使用することにより所有権を主張するものではありません。個人や本報告書に記載するいかなる事業、組織、企業、商標、ロゴ、ブランドまたはその他の名称もしくは由来の所有者は、本出版物を後援、承認、支持しておりません。



株主の皆様、

2025年は、バンク・オブ・ハワイにおいて、私が会長兼最高経営責任者を務める最後の年となりました。2026年2月に発表したとおり、私はCEOとしての16年にわたる充実した任期を終え、2026年3月31日をもって退任いたします。銀行での最後の会計四半期を締めくくるにあたり、バンク・オブ・ハワイでの33年に及ぶ私のキャリアが、目的意識、進歩、共有された数々の成果によって形作られてきたことに、深い感謝の念を抱いています。128年の歴史を有する当行の舵取りに、卓越したリーダーシップチームおよび献身的なBankohの仲間たちとともに携われたことは、まさにこの上ない光栄でした。

本年初め、当行の取締役会は、2026年4月1日付でバンク・オブ・ハワイの次期社長兼最高経営責任者として、**James C. Polk (ジェームズ・C・ポーク)**を選任しました。私は、当行をJimに託すことを大変光栄に思うとともに、銀行をさらに前へと導く力を彼が備えていると確信しています。1999年に入行して以来、彼は卓越したリーダーシップ、一貫した成果、バンク・オブ・ハワイを特徴づける価値観に対する深いコミットメントを示してきました。

さらに、ハワイ・パシフィック・ヘルスの社長兼最高経営責任者であり、BOHCの筆頭独立社外取締役を務める**Raymond P. Vara, Jr. (レイモンド・P・ヴァラ・ジュニア)**が、BOHC取締役会の新たな役職である非業務執行会長に就任します。

経営体制の変更は、円滑な移行を確実なものとすることに重点を置いた、当行における長年にわたる計画的な後継者育成・選任プロセスに基づきます。適任のリーダーが次の役割を担う準備が整い、かつ銀行の基盤が極めて強固な今は、移行を遂げるよいタイミングであると考えています。継続性を確保するため、私は2027年までコンサルタントとしての役割を担い、移行プロセス全体を通じて必要に応じた支援を行う予定です。

今後も当行は、これまでに築いた勢いを基盤とし、力強く一貫した成果を上げることに注力してまいります。ハワイに根差したビジネスモデルを基盤とする当行の戦略は、持続可能な競争優位性の確立、責任ある成長、保守的なリスク管理を可能にしてきました。強固なリーダーシップ体制の下、この確かなアプローチが意思決定を導き、今後も継続的な成功を遂げる基盤となっています。

堅調な財務実績

バンク・オブ・ハワイは2025年を堅調な財務実績で締めくくり、強固なバランスシート、規律ある経費管理、長期成長へのコミットメントを維持しながら、市場シェアを拡大しました。効率性の重視は、当行の事業運営における重要な柱であり続けています。

2025年通期の普通株式1株当たりの希薄化後利益は4.63ドル、純利益は2億600万ドルでした。2025年の平均資産利益率は0.87%、平均株主資本利益率は13.29%と、高い水準を維持しました。

2025年は、全四半期を通じて、純金利収益および利ざやが一貫して成長しました。また、2025年6月に発表された連邦預金保険公社の預金に関する年次預金概要で、バンク・オブ・ハワイは引き続き、預金市場でシェア第1位を維持しました。お客さまからの揺るぎない信頼の証として、期末の預金残高および貸出金残高はそれぞれ212億ドル、141億ドルとなり、いずれも2024年から増加しました。

期末時点において、資産の健全性および流動性はいずれも堅調に維持されており、即時に利用可能な流動性は109億ドルと、無保険または無担保の預金総額を上回る水準となりました。

ハワイの経済

ハワイの経済は、米国全体の経済が予期せぬ混乱に直面する中でも、2025年の大半において安定的に推移しました。金融市場には信頼感と成長の兆しが見られた一方で、消費者物価が約3.0%上昇したことにより、家計への負担は増加しました。

観光産業は引き続き地域経済の主要な牽引役となり、来訪者数がわずかに減少したものの、1人当たりの消費額の増加がこれを相殺しました。来訪者の消費額は217億5,000万ドルと、前年から5.7%増加した一方、来訪者数は0.6%減少し、964万2,991人となりました。

ハワイの雇用市場は引き続き安定しており、失業率は12月に2.2%まで低下しました。前年の3.0%から改善した水準であり、全米平均の4.4%を下回っています。

一方で、ハワイの不動産市場は年末に向けて緩やかに上昇しました。一戸建て住宅の価格はオアフ島およびハワイ島で上昇し、州全体の販売件数は2.1%増加しました。コンドミニアムの価格動向はまちまちで、販売件数は4.1%減少しました。

2025年の受賞実績

Newsweek

アメリカで最も信頼される 企業に選出

- ・4年連続のリスト入り
- ・バンク・オブ・ハワイは、本リストに掲載された唯一のハワイ拠点企業です
- ・銀行業カテゴリーで全米第12位

ハワイ

ハワイのベストバンク *Honolulu Star-Advertiser*

ベストバンク *The Garden Island*

ベスト・オブ・イースト・ハワイ *Hawaii Tribune-Herald*

ベスト・オブ・ウエスト・ハワイ *West Hawaii Today*

お客さまへのサービス

128年以上にわたり培ってきた専門性ときめ細かなサービスは、バンク・オブ・ハワイの特長であり続けています。ランチ・オブ・トゥモロー・ネットワークは、対面でのやり取りの価値を最大限に発揮する場です。当行がサービスを提供する各島や地域社会はそれぞれに固有の特性を持ち、過去10年間、各拠点に適した最新のサービスを提供できるよう支店システムの刷新に投資してきました。このアプローチにより、投資が関係性を実効的に強化し、コミュニティとの結びつきを一層深めることにつながっています。

2025年に、5つの支店を新設または改修しました。このうち2店舗はマウイ島に所在しており、2023年の山火事で被災した支店に代わり、ラハイナに新たな支店を開設するとともに、ハナ支店において重要な改修を実施しました。また、グアムのタムニングに新たな西太平洋地域本部を開設し、年末にはハワイ島のカウおよびコナにおいて支店の改修を完了しました。2026年には、この勢いをさらに加速させ、グアムのマイクロネシア・モール内に新支店を開設するほか、ハワイ島プウアイナコ、モロカイ島、ラナイ島の各支店における改修を実施します。

お客さまに寄り添い、ニーズに応える責任を重く受け止め、すべてのやり取りでその姿勢を大切にしています。2025年10月には、ナショナル・カスタマー・サービス・ウィークを記念し、カスタマー・エクスペリエンス (CX) チームが特別プログラム「マハロ・ミンツ」を開始しました。お客さまへの感謝の気持ちをささやかに表す取り組みとして、ハワイ、グアム、サイパンおよびパラオの各支店において、15万個を超えるマハロ・ミンツを配布しました。

「バンク・オブ・ハワイの
献身的な行員ほど優れたチーム
はありません。」

卓越した人材

バンク・オブ・ハワイで違いを生み出しているのは人材です。オンライン、対面でお客さまに対応する場面でも、後方で不可欠な業務を支える場面でも、行員一人ひとりが重要な役割を果たしています。

従業員エクスペリエンスの向上を図るとともに、チーム間の連携強化と業務効率の向上に継続的に取り組んでいます。取り組みの一環として、全行員に生成AIの機能を提供する Microsoft Copilotを導入しました。あらゆるイノベーションと同様に、成功は人から始まります。行内の各部門では、AIがサービスの向上や業務の効率化にどのように貢献できるか、実践的な活用方法を模索し、共有しています。AIが現代のビジネスに不可欠な要素であることを当行は認識しており、その可能性を責任ある形で取り入れる思慮深い取り組みの第一歩です。

行員が意味あるキャリアを築き、潜在能力を最大限に発揮できるように、多様な専門的および個人的な能力開発プログラムを提供しています。大学授業料の全額支援やリーダーシップ開発プログラムを通じて、キャリアのあらゆる段階での成長を支援しています。行員リソース・グループ (ERG) である Blue Brigade、Nā 'Ōiwi Aloha、RainBOH、Women Inspired は、メンタリングの機会を提供するとともに、意味あるつながりを育む場となっています。



マウイ島ラハイナに新設されたラハイナ支店の開設日に集まった、当行ラハイナ支店のチームおよび経営陣。

コミュニティへのコミットメント

島々の地域社会にとってより良い未来を築くという当行のコミットメントを、バンク・オブ・ハワイがさまざまな形で示し続けていることを誇りに思います。学校に通う子どもたちへの金融リテラシー教育の提供、小規模事業者へのメンタリング、実践的なボランティア活動を通じた環境改善など、持続的な価値を生み出す取り組みを進めています。

毎年最大の募金活動は、リブ・コクア・ギビング・キャンペーンです。完全に行員主導の取り組みです。2025年に、行員および退職者が合計62万3,000ドルを募金し、2010年の開始以来、地域の非営利団体への累計寄付額は940万ドルに達しました。

さらに、バンク・オブ・ハワイ財団は、毎年、協賛や助成金を通じて多くの非営利団体による重要な活動を支援しています。2025年に、同財団を通じて47の地元非営利団体が支援を受けました。

新たなリーダーシップ

2025年7月、Bradley “Brad” S. Satenberg (ブラッドリー・S・サテンバーグ) は、副会長兼最高財務責任者 (CFO) に昇進しました。現在は、バンク・オブ・ハワイにおける事業計画および予測、財務会計・報告、規制対応の財務報告、法人税務、投資家向け広報 (IR)、トレジャリー、ならびに全社予算を統括しています。Bradは、金融サービス業界で30年以上の経験を有し、2024年7月に入行して以来、経営陣の一員として重要な役割を果たしてきました。入行時は、当時の最高財務責任者であったDean Shigemura (ディーン・シゲムラ) の下で、上級副社長兼CFO代理として職務に就きました。

Bradの新たな役割は、6月のDeanの退任に伴う、計画的な移行プロセスの一環です。Deanは、2026年6月までコンサルタントとして引き続き在籍し、継続性を支えます。Deanは約30年にわたり卓越した財務面の助言を当行に提供してきました。CFOに就任する前には、コントローラーやトレジャラーなど、財務部門におけるさまざまな役職を歴任しました。

エグゼクティブ・バイスプレジデント兼個人向け融資業務担当シニア・エグゼクティブ・ディレクターのEdward C.S. Kim (エドワード・C.S.キム) も6月に退任しました。当社のエグゼクティブコミティメンバーでもあったEdは、バンク・オブ・ハワイにおいて35年にわたる卓越したキャリアを築き上げました。

「当行の取り組みの中心にあるのは、チームメート、お客さま、地域社会との間に築いた関係性です。」

シニア・バイス・プレジデントのMichael Sakazaki (マイケル・サカザキ) は、グアムのタムニングに新たな西太平洋地域本部が開設された2025年7月に、西太平洋マーケット・プレジデントに昇進しました。新たな役職において、グアム、サイパン、パラオにおけるリテール・バンキング、プライベート・バンク、ならびにコマーシャル・バンキング各部門の戦略および業務運営を統括しています。Mikeは2017年に入行し、オアフ島の各支店でさまざまなリーダーシップ職を歴任しました。2023年に、支店銀行業務における西太平洋マーケットのシニア・マーケット・マネージャーとして、故郷であるグアムに戻っています。

おわりに

バンク・オブ・ハワイの献身的な行員ほど優れたチームはありません。当行を形作る価値観に導かれながら、当行は銀行業務をよりシンプルで、より利用しやすいものにするツールやテクノロジーへの投資を継続しています。当行の取り組みの中心にあるのは、チームメート、お客さま、地域社会との間に築いた関係性です。この関係性こそが当行の意思決定を導き、当行の強さの礎となっています。Jimのリーダーシップの下で広がる将来に大きな信頼を寄せています。信頼に応える確かなサービス、思慮深いイノベーション、ステークホルダーの皆さまが安心して頼れる成果をチームが上げ続けていくことを楽しみにしています。

心より感謝の意を込めて。



PETER S. HO (ピーター・S・ホー)
会長、社長兼CEO

2025年の財務実績の概要

バンク・オブ・ハワイ・コーポレーションおよびその子会社（1株当たりの額を除き、単位：千ドル）

12月31日終了年度	2025年		2024年	
収益のハイライトおよび業績指標				
当期純利益	\$	205,902	\$	149,994
普通株1株当たり基本利益		4.67		3.48
普通株1株当たり希薄化後利益		4.63		3.46
1株当たり配当		2.80		2.80
純利益／平均総資産 (ROA)		0.87%		0.64%
純利益／平均株主資本 (ROE)		11.86%		9.78%
純利益／平均普通株主資本 (ROCE)		13.29%		10.85%
ネット金利マージン ¹		2.45%		2.16%
効率性比率 ²		61.84%		67.30%
普通株式1株の市場価格：				
終値	\$	68.37	\$	71.24
高値		76.00		82.70
安値		57.45		54.50

12月31日現在

財政状態のハイライトと業績比率

貸出金とリース債権	\$	14,082,050	\$	14,075,980
資産合計		24,176,364		23,601,114
合計預り金		21,188,495		20,633,037
その他負債		558,176		558,274
株主資本合計		1,851,212		1,667,774
普通株1株当たり純資産	\$	37.92	\$	33.27
貸出金およびリース債権に対する貸倒引当金		1.04%		1.06%
専従換算社員数		1,877		1,865
支店とオフィス		51		50

12月31日終了四半期

収益のハイライトおよび業績指標

当期純利益	\$	60,935	\$	39,162
普通株1株当たり基本利益		1.40		0.86
普通株1株当たり希薄化後利益		1.39		0.85
純利益／平均総資産 (ROA)		1.01%		0.66%
純利益／平均株主資本 (ROE)		13.33%		9.42%
純利益／平均普通株主資本 (ROCE)		15.03%		10.30%
ネット金利マージン ¹		2.61%		2.19%
効率性比率 ²		57.75%		66.12%

¹ ネット金利マージンは、受取利息純額（課税ベース）が平均収益資産に占める比率と定義されます。

² 効率性比率は、非利息費用を総収入（純受取利息と非利息収入の合計）で除した数値と定義されます。



昨年の振り返り

地域社会との つながりを 強化

2025年、バンク・オブ・ハワイは、主要な支店投資、デジタル機能の強化、コミュニティとのパートナーシップを通じて、サービスを提供する人々と場所に対する継続的なコミットメントを一層推進しました。ラハイナからグアムに至るまで、一つひとつの節目が、ハワイおよび太平洋地域全体における、つながり、イノベーション、サービスへの注力を映し出しています。

上から：グアムに新設した西太平洋地域本部／カウ支店におけるランチ・オブ・トゥモロー改修完了を祝う行員／ハナ支店の改修完了を記念する祝福の儀式／コナ支店に設置された、コミュニティの地図をモチーフとしたカスタムアート／マウイ島ラハイナに新設したバンク・オブ・ハワイの支店。

支店網の再創造

2025年は、ハワイおよび西太平洋地域全体で5つの主要プロジェクトを完了し、当行の支店網にとって画期的な年となりました。新設または改修した各ブランチ・オブ・トゥモローは、あらゆるお客さまと地域社会への投資を体現するものであり、現代的なデザインと、バンク・オブ・ハワイを特徴づけるきめ細かなサービスを融合させています。

ラハイナへの復帰

5月、当行はラハイナ・キャナリー・モールでラハイナ支店を再開し、1930年以来サービスを提供してきたコミュニティへの復帰を象徴する節目を迎えました。延床面積3,400平方フィートの新たなブランチ・オブ・トゥモローは、アートとデザインを通じてラハイナの歴史を称えるとともに、2023年の山火事からの復興に取り組む地域住民や事業者に対し、きめ細かな金融サービスを提供しています。

ラハイナ復興への当行の取り組みの一環として、バンク・オブ・ハワイ財団は、働く世帯にとってより手の届きやすいハワイの実現に取り組む非営利団体Holomua Collectiveに10万ドル寄付しました。

この助成金に、デモン連邦住宅貸付銀行からの15万ドルのマッチング拠出が加わり、差し押さえリスクに直面する住民への直接的なコミュニティ支援として総額25万ドルが提供されました。

西太平洋地域での拡大展開

7月、当行はグアムのタムニングに新たな西太平洋地域本部を開設しました。延床面積18,361平方フィートの本施設は、プライベート・バンク、コマーシャル・バンキング、ディーラー・インダイレクト・レンディング、モーゲージ、コンタクトセンターを含む西太平洋地域の事業運営を一拠点に集約するものです。また、本施設では、地域への継続的なコミットメントの一環として、ブランチ・オブ・トゥモローの最新機能も取り入れています。

地域社会への投資

本年、ブランチ・オブ・トゥモローの改修をさらに3拠点で完了しました。マウイ島のハナ支店、ならびにハワイ島のカウ支店およびコナ支店です。いずれの拠点も、先進的なテクノロジーと地域ニーズに応じてカスタマイズしたサービスを融合させ、プライバシーに配慮した相談スペースを設けることで、顧客エクスペリエンスの向上を図っています。現在、改修の次段階に向けた工事が進行中で、2026年には、ハワイ島のKTAプウアイナコ支店、モロカイ島のカウナカカイ支店、ならびにラナイ支店の改修を予定しています。

バンコー・アリーナのご紹介

8月、ハワイ大学マノア校の象徴的なスポーツ施設は、UH Athleticsとの10年間にわたるパートナーシップの一環として、スタン・シェリフ・センター内バンコー・アリーナへと改称されました。新たな名称は、コミュニティに深く根差してきたバンク・オブ・ハワイの歩みと、世代を超えて親しまれ信頼される存在としての役割を称えるものです。

バンク・オブ・ハワイの支店とATM

(2025年12月31日時点)

	支店	ATM
ハワイ州	47	273
オアフ島	25	185
ハワイ島	8	40
マウイ島	8	27
カウアイ島	4	19
ラナイ島	1	1
モロカイ島	1	1
西太平洋	4	48
グアム	2	35
北マリアナ諸島／サイパン	1	8
パラオ	1	5
合計	51	321

本年、バンク・オブ・ハワイはAllpoint® ネットワークに参加し、全米4万台を超えるATMを手数料無料で利用できる環境を提供しています。



バンク・バイ・アポイントメント

2025年に、デジタルおよび対面いずれのチャネルでも、お客さまはきめ細かな個別対応サービスを明確に選択しました。予約なしでの来店時対応に加え、利便性の高いバンク・バイ・アポイントメント機能を通じて、49,311件を超えるオンライン予約が行われ、月平均4,109件に達しました。

バンコー・アドバイザーズ

2025年、バンク・オブ・ハワイは、投資サービスおよび保険サービスの高度化に向けた一歩として、ブローカー・ディーラー・サービスの提供を目的に、Cetera Investment Servicesとのネットワーキング契約を締結しました。先進的なテクノロジー、拡充した投資リソース、効率的なオペレーションを、長年にわたりお客さまが信頼してきた個別ガイダンスと融合させ、次世代の顧客エクスペリエンスを提供する体制を整えました。

お客さまはこれまでと同様に信頼する担当者と取引を行うことができます。Ceteraの機能と連携することで、バンコー・アドバイザーズに所属する地域に根差した金融プロフェッショナルが、洗練された新しい顧客エクスペリエンスを提供しています。

イノベーションの推進

2025年には、業務効率、顧客サービス、従業員エクスペリエンスの向上を目的として、生成AI (GenAI) ツールを導入しました。7月に、Microsoft® Copilot® へのアクセスを全行員に展開し、生産性の向上や日常業務の効率化を支援する新たな機能を提供しています。

責任あるAI活用を確保するため、当行の価値観および規制基準に整合した方針、監督委員会、倫理審査プロトコルを組み込んだ、強固なガバナンス体制を構築しました。

思慮深いアプローチにより、当行はイノベーションを活用しながらも、お客さまの信頼、データのプライバシー、業務の健全性を確実に守ることが可能となっています。(行員向け展開の詳細については、本報告書17ページの「私たちの行員」をご参照ください。)

Atmos Rewards

10月、ハワイアン航空およびアラスカ航空はロイヤルティ・プログラムを統合し、Hawaiian MilesをAtmos Rewardsへ移行しました。変更により、Hawaiian Airlines®・Bank of Hawaii World Elite Mastercard® およびBankoh Hawaiian Airlines Visa® Debit Cardの会員の皆さまに、一体感のあるリワード・エクスペリエンスを提供しています。

ハワイアン航空との長年のプログラムからの移行が進む中、お客さまにとって円滑なエクスペリエンスを確保することに注力してきました。当行のチームは、コミュニケーションおよびサポートに引き続き密接に関与し、カード会員の皆さまが新たなプログラムや特典に安心してなじめるよう支援しています。

デジタルアクセスの拡充

お客さまが柔軟性と利便性をこれまで以上に求める中、デジタルバンキングは引き続き進化を続けています。

2024年に新たなモバイルおよびオンライン・バンキング・プラットフォームへ移行して以降、初年度となる2025年に、デジタルチャネルの利用が以下のとおり力強く拡大しました。

- ▶ デジタルバンキング登録者数は35万人超に達し、そのうち80%以上がモバイルアプリを利用
- ▶ 月間平均ログイン回数は640万回となり、2024年比で21%増加

モバイルアプリに対する高い評価を維持しています。

- ▶ 4.8 Apple® App Store®
- ▶ 4.7 Google Play®

新たに導入したデビットカード管理ツールは高い利用率を示しています。

- ▶ デビットカードのアクティベーションの29%がデジタルで実施
- ▶ デビットカード暗唱番号 (PIN) 管理の36%がデジタルで実施

モバイルウォレット取引は1,030万件。
2024年比30%増 (Apple Pay®, Samsung Pay®, Google Pay®)

189,700人のZelle®利用者





Mana Upメンタープログラムの第3期は、バンク・オブ・ハワイのメンターとの数カ月間にわたる学びの後、2025年初頭に修了しました。

スモールビジネスを支援

当行の行員は日々、地域の事業者と連携し、単なる取引にとどまらず、ニーズを先読みし、最適化された戦略を提供することで、事業の成長を支えています。スモールビジネスの支援は、独自性の高いこの市場に対する当行のコミットメントの中核を成します。その一環として、ハワイに拠点を置く企業のグローバルな展開を支援する、地域のアクセラレーター兼ベンチャーファンドであるMana Upとの連携を進めています。

2025年に、成長性と認知度を高めることを目指す長期的なプログラムを通じて、このコミットメントをさらに強化しました。

- ▶ **フード・トラック・デー (Food Truck Day)** は、ホノルル中心部の当行本店前で2年目の開催を迎えました。毎月第3木曜日に実施され、地域のフードベンダーに認知度向上および収益機会を提供しています。また、一部の日程では、Mana Upの参加企業もフード・トラックと並んで自社製品を販売する機会を得ました。
- ▶ 当行の年次プログラムである**Mana Upメンタープログラム**は、4月に第4期を迎えました。バンク・オブ・ハワイのリーダーが、成長段階にある地域の事業者とペアを組み、リーダーシップ、財務、成長戦略に関する助言を提供しています。開始以来、本プログラムを通じて、地域企業に対し相当な時間にわたるメンタリングを行ってきました。
- ▶ 当行の**ランチ・オブ・トゥモロー**の各拠点では、デジタルディスプレイを通じて地域の事業者を紹介し、中小企業コミュニティが示す献身とイノベーションを称えています。

持ち家取得と手頃な価格の住宅

住宅を所有することは、単に住まいを得ることにとどまりません。それは経済的な安定と自立の重要な基盤です。住宅費が全米でも特に高く、供給が限られているハワイでは、多くの世帯にとって持ち家取得は容易ではありません。当行は、島々全体で住宅へのアクセス拡大に注力しており、回復力のある強い地域社会を築くのに不可欠な取り組みです。

バンク・オブ・ハワイは、HUD 184Aネイティブ・ハワイアン住宅ローン保証プログラムを通じた融資を提供する数少ない地域金融機関の一つであり続けています。ハワイ州住宅土地局(DHHL)の受益者が、持ち家取得に必要な資金へアクセスできるよう支援しています。

バンク・オブ・
ハワイは
**市内第1位の
住宅不動産ローン
貸付機関だった**

(2025年の住宅用不動産ローンの新規取扱件数と取扱金額の両面で。ハワイ州不動産登記局による)

当行は手頃な価格の住宅ソリューションへの投資を継続しており、毎年数百戸の住宅供給を創出する開発案件へ資金提供しています。

年度内の主な取り組み：

カレパ・ビレッジ (カウアイ島リフエ)

カウアイ島では、当行の支援により、リフエ近郊に位置する多段階開発の手頃な価格の住宅コミュニティであるカレパ・ビレッジの再整備が実現しました。現在建設中の同プロジェクトでは、低所得世帯から極低所得世帯を対象とした、1ベッドルーム、2ベッドルーム、3ベッドルームの各種アパートメントが提供される予定です。バンク・オブ・ハワイは、80戸の本プロジェクトに対し、130万ドルの長期ローンを提供しました。

カイアウル・オ・クプオヒ (マウイ島ラハイナ)

ラハイナでは、2023年の甚大な山火事後、再建されたカイアウル・オ・クプオヒが、人々にとって再び我が家と呼べる場所となっています。89戸の本複合住宅は、地域の世帯所得中央値(AMI)の60%以下の所得水準の居住者を対象に、1ベッドルーム、2ベッドルーム、3ベッドルームの住戸を提供しています。各住戸には、最新の設備、省エネルギー型家電、バルコニーもしくはパティオが備えられています。資金調達に、820万ドルの長期融資および1,500万ドルのエクイティが含まれています。

カイアウル・オ・クークイア (マウイ島ラハイナ)

当行の手頃な価格の住宅投資の中で最大級の案件の一つが、ラハイナに位置する低所得世帯を対象とした200戸の恒久賃貸住宅コミュニティのカイアウル・オ・クークイアです。本プロジェクトは、2ベッドルーム、3ベッドルーム、4ベッドルームの住戸を備えています。建物は、ラハイナの歴史と風土を反映したプランテーション様式の2階建て建築25棟で構成されています。敷地内にはコミュニティルームやピクニックエリアも整備されています。バンク・オブ・ハワイは5,300万ドルの建築ローンおよび2,700万ドルのエクイティを提供しました。



地域社会の持続的な発展を支援

地域社会が繁栄するとき、皆がその恩恵を受けると考えています。バンク・オブ・ハワイ財団およびリブ・コクア・プログラムを通じて、島々および太平洋地域全体にわたり、長期的かつ前向きな変化をもたらす取り組みを行う地元の非営利団体やコミュニティ・パートナーへ投資しています。

バンク・オブ・ハワイ財団

2025年、バンク・オブ・ハワイ財団は、ハワイの家族、地域社会、次世代の未来を強固なものとする取り組みを行う団体を支援しました。教育や医療から、経済的自立の促進、文化的つながりの継承に至るまで、当財団の寄付活動は、回復力のある地域社会を築くという当行のコミットメントを反映しています。

上から時計回り：当行本店前で行われたアロハ・ユナイテッド・ウェイ支援の集会（地元の非営利団体を支援する数か月にわたる募金活動の開始を告げるもの）／ピーター・ホー会長兼CEOが、ALICEレポートをテーマとしたパネルディスカッションに登壇／夏季インターンがコミュニティ・サービス・プロジェクトの一環として学校キャンパスの美化活動を実施／Nā'Ōiwi Alohaのメンバーがホノルルのキング・カメハメハ像前で行われる年次式典で全長30フィートのレイを奉納。

非営利団体との提携

アロハ・ユナイテッド・ウェイ： ALICEレポート

当財団は、ハワイにおけるALICE層（資産が限られ所得に制約があり雇用されている個人および世帯）への理解を深め、生活向上を支援する取り組みへの投資を継続しています。当財団からの助成により、就業世帯が直面する経済的課題を明らかにする、州全体を対象としたALICEレポートが作成されました。当財団は、レポートが初めて公開された2017年以降、毎年その作成を支援しています。

ハワイ・モバイル・ミュージアム・オブ・トレランス

思いやり、包摂性、人間の尊厳の大切さを州内の学校に伝える、このインタラクティブな博物館への支援は、2026年1月に開始しました。テクノロジーと体験型展示を活用し、生徒たちが人種差別、いじめ、憎悪に立ち向かう姿勢を育むことを目的とする博物館です。

ホロムア・コレクティブ

当財団は、ホロムア・コレクティブが実施するラハイナ住宅所有者復興助成プログラムへの支援に、マッチング拠出を加えることで、差し押さえリスクに直面する世帯が住み慣れた住居に住み続けられるよう支援するとともに、住宅用不動産を長期的に地域のために活用できる形で保全しています。

パシフィック・ツナミ・ミュージアム

ヒロに所在する施設の再活性化、公衆安全プログラムの強化、アウトリーチおよび運営体制の拡充を通じた持続可能性の向上を目的に、同ミュージアムへの支援が行われました。

ウィルコックス・ヘルス財団

ウィルコックス・ヘルス財団への助成金は、ハワイ州内の医療施設としては初となる革新的なトレーニング・テクノロジーの導入を支援しています。この設備により、カウアイ島全域の医療従事者が実践的な学習を通じて重要な技能を磨き、患者ケアの質の向上につなげることが可能となります。

ホノルルYMCA

複数年にわたるコミットメントにより、ホノルルYMCAは、ホノルルにある旗艦本部に新施設を建設することが可能となります。幼児教育センター、屋外プール、拡充されたコミュニティスペースが設けられ、青少年の健全な成長と家族のウェルネスを支援する拠点となる予定です。

2025年の支援活動

地元の
47非営利団体
に助成金を
支給



リブ・コクアのボランティア活動プログラム

「リブ・コクア・プログラムは、ボランティア活動と寄付を通じて、行員の寛大さと奉仕の精神を社会へとつなげる取り組みです。本年は、バンコー・ブルー・クルーのメンバーが島々で特別な活動に時間を捧げ、教育、サステナビリティ、住宅、人道支援といった分野を支援しました。

バンコー・ブルー・クルー

1,177人の
行員ボランティア

3,365時間の
ボランティア活動



IHSメンズ・シェルター

年間を通じて毎月、5名からなる専任のボランティアチームが、インスティテュート・フォー・ヒューマン・サービス (IHS) メンズ・シェルターを訪れ、温かい食事の準備と提供を行いました。支援を必要とする人々に栄養だけでなく、人とのつながりを届けています。

RainBOHのERGメンバーおよび支援者は、島の集水域を守ることにつながる、気候に配慮した在来種の植物を植栽することで「オーシャン・フレンドリー・ガーデン」の整備・刷新に取り組みました。

グッドウィル・ゴーズ・グラム!

28人の行員が、就労障壁を乗り越える支援への認知向上と資金調達を目的とした、グッドウィル・ハワイの代表的な募金イベント、グッドウィル・ゴーズ・グラム!を支援するために力を合わせました。バンク・オブ・ハワイ財団は14年連続でプレゼンティング・スポンサーを務めています。

インターンの活動

夏季インターンは、ケエリコラニ中学校で実施された1日間のキャンパス美化活動において、合計400時間を超えるボランティア活動に貢献しました。学校の塗装、清掃、スペースの再生といった取り組みを通じて、当行本店にほど近い地域の教育環境の向上を支援しました。

940万ドルを 地元の非営利団体へ

2010年以降のLIVE KŌKUA
ギビング・キャンペーン累計募金額

2025年リブ・コクア・ギビング・キャンペーン

今こそ、これまで以上に

本年のテーマ「今こそ、これまで以上に」の下、行員と退職者が一体となり、5週間の募金キャンペーンを実施しました。300を超えるアロハ・ユナイテッド・ウェイの非営利団体を支援するものです。行員リソース・グループ (ERG) は、年次の募金イベントを主催する取り組みを昨年開始し、行員の間で高い支持を集めています。今年の本取り組みとして、Nā 'Ōiwi Alohaによる「テイスト・オブ・アロハ」が挙げられ、ハワイ料理のプレートランチ250食を販売し、収益がキャンペーン支援に充てられました。

寄付にあたって、行員が支援先を自由に選択できる仕組みに加え、キャンペーン共同委員長3名および4つの従業員リソース・グループ (ERG) によって、以下の7団体が注目支援先として選定されました。

- › 'Aha Pūnana Leo
- › Child & Family Service
- › Domestic Violence Action Center
- › Girl Scouts of Hawai'i
- › Hawai'i Health & Harm Reduction Center
- › Junior Achievement of Hawaii
- › U.S. VETS





第18回年次コミュニティ・サービスデー

150名を超えるバンコー・ブルー・クルーのメンバーが、オアフ島のカハウイキ・ビレッジでボランティア活動に参加しました。同コミュニティは、ホームレス状態からの移行期にある家族に長期的な住まいを提供しています。ボランティアは、植栽、塗装、共用スペースの整備に取り組みました。また、コミュニティに特別な意味を持つハワイの価値観である、クレアナ (kuleana: 責任) とローカヒ (lōkahi: 調和・結束) をテーマに、地元アーティストのケイリン・オクハタがデザインした2点のカスタム壁画を完成させました。この取り組みを記念し、バンク・オブ・ハワイ財団は、同施設を運営するインスティテュート・フォー・ヒューマン・サービス (IHS) に助成金を提供しました。



地域再投資法 について

バンク・オブ・ハワイは、地域社会全体で金融リテラシーの向上と中小企業の成長を引き続き支援し、あらゆる人にとって公平な機会の創出に取り組んでいます。

サイパン中小企業 支援助成金

当行財団のイ・キノメティ・パラ・イクムニダット・イ・イスラタ・プログラムを通じて、サイパンの中小企業5社がそれぞれ5,000ドルの助成金を受け取りました。これらの助成金は、事業の拡大および基盤強化を支援し、地域の起業家精神と経済的レジリエンスの向上に寄与しています。

2025年の助成金受給先：

- ▶ **Ancient Compost.** 持続可能性に注力し、ゼロ・ウェイスト（廃棄物ゼロ）のコミュニティづくりを目指す家族経営の企業。
- ▶ **Magof Professional Services.** 女性経営の企業で、法務サポートに加え、公証およびメッセンジャー・サービスを提供。
- ▶ **Marianas Churisos Company.** 北マリアナ諸島で唯一、地元製造のクラフトソーセージを手がける生産者。食の安全の強化と地域の他事業者の支援が使命。
- ▶ **Niao's Poké Deli.** 創造性あふれる島ならではの新鮮な味わいと温かいホスピタリティで地域住民と来訪者の双方に親しまれている地元飲食店。
- ▶ **Pacific Psychiatric Care.** あらゆる年齢層の患者に思いやりあるメンタルヘルス・サービスを提供するクリニック。

生涯にわたる経済的な 自信を育む

初等教育から成人期に至るまで、当行の金融リテラシー・プログラムは、当行が活動する地域社会の住民が十分な情報に基づき金融上の意思決定を行えるよう支援しています。

ジュニア・アチーブメント

4月に、バンコー・ブルー・クルーが、オーガスト・アーレンズ小学校2年生を対象に金融リテラシーの授業を実施しました。当行の行員は、ハワイおよび西太平洋地域全体の多くの学校を訪問し、子どもたちが資金管理の基本を学ぶ機会を提供しています。

スマート・マネー・レッスン・デー

2009年に始まった取り組みを継続し、4月と10月に、ボランティアがケエリコラニ中学校の生徒向けに金融リテラシーの授業を実施しました。将来を担う世代の金融に対する自信と理解を育んでいます。

アロハ・プライド

10月に開催されたホノルル・プライド・パレード&フェスティバルでバンク・オブ・ハワイは6年連続でビジョナリー・レベルのスポンサーを務めました。150名を超える行員、家族、友人が共に行進し、包摂性と帰属意識を祝福するとともに、本年の中心テーマである「アロハ・プライド」のメッセージをコミュニティ全体に発信しました。



ボランティア所得税支援 (VITA)

米国内国歳入庁 (IRS) の認定を受けた税務申告作成者の行員6名が合計75時間を費やして個人および世帯の税務申告86件を支援しました。年収66,000ドル以下の方々を対象に、無料かつ正確な税務サポートを提供しています。この取り組みにより、約78,000ドルが税還付としてコミュニティに還元されました。

ワイキキ・コミュニティ・センター

ALICEコレクティブ・インパクト・ファンドのマッチド・セービング・プログラムとの協働パートナーシップを通じて、バンク・オブ・ハワイは、利用者が緊急時の備えとなる貯蓄を築き、貯蓄習慣を身に付け、必要不可欠な金融サービスへアクセスできるよう支援する貯蓄口座の開設を支援しました。

自立への道筋

EPIC Ohana, Inc.、ハワイ・コミュニティ財団、アニー・E・ケイシー財団とのパートナーシップを通じて、HI H.O.P.E.S.イニシアチブは、里親養護を経験した若者が、意義ある目標に向けた貯蓄を行えるよう支援しています。



HI H.O.P.E.S.イニシアチブの

主な支出用途

32% 教育

28% 住宅

20% 自動車

2025年 (州全体)

1,166 参加者数

174万ドル
資産購入総額

2010年プログラム開始以来



4月に、当行の行員が Junior Achievementと連携し、子どもたちに「必要なもの」と「欲しいもの」の違いを含む、基本的な金融スキルを教える授業を実施しました。



私たちの行員

従業員エクスペリエンスの向上

本年、当行はチームの働き方をさらに進化させ、日々の業務体験をより充実させる新たな学習機会を通じて、行員一人ひとりの成長を後押ししました。

イノベーションと支援を通じたチーム力の強化

本年、当行は業務効率とエンゲージメントの向上を目的に、AIを活用したさまざまなソリューションを全社的に展開しました。夏に、Microsoft Copilotへのアクセスを全行員に拡大し、生産性とイノベーションの面で大きな前進を遂げました。円滑かつ効果的な導入を実現するため、行員は研修コースに参加した後、スキルレベル別に設計された対面およびオンラインのラーニング・ラボに取り組みました。

さらに、週次で実施したCopilotチャレンジを通じて、行員は自身の業務活用を想定し、効果的なAIプロンプトを創出する創造的な方法を探求しました。

AIアンバサダー

テクノロジーとイノベーションに情熱を持つ60名の行員が、AIアンバサダーとして、専門知識と熱意を共有しながら、各チームにおけるAI活用を牽引しています。Microsoft 365[®] Copilotから、AIを活用したデータ分析、マルチメディア生成、コンテンツ制作に至るまで、幅広いテーマについて知見を提供しています。(右写真)

行員フィードバック

全社的にAI活用を推進する中で、当行は社内フィードバックの在り方も進化させ、刷新したBluePulseエンゲージメント・プラットフォームを立ち上げました。この新たな社内リスニング・ツールにより、エンゲージメントに関するインサイトの収集および分析方法が現代化されています。参加率は74%と高水準を記録しており、高度な分析機能やAIを活用した支援を通じて、管理職はインサイトの解釈、結果の共有、実効性のあるアクションにつなげることが可能となっています。

緊急ローン支援プログラム

連邦政府の一部業務停止の影響を受けた方々を支援するため、バンク・オブ・ハワイは、個人向けローン、支払猶予、ローン期間の延長などを含む特別な救済プログラムを提供しました。連邦政府職員および契約職員が、生活に不可欠な支出を賄い、経済的な負担を軽減できるよう支援しています。影響を受けた家族を有する当行の従業員も申請対象となり、手数料免除および優遇金利の適用を受けて、最大5,000ドルまでのローンを利用することが可能になりました。

行員リソース・グループがウェルビーイングとつながりを支援

当行の従業員リソース・グループ(ERG)は、多様性と包摂性を育み、個人の成長とコミュニティとのつながりを深めることを目的に、幅広いイベントやボランティア活動を展開しています。

▶ **Blue Brigade**は、約90名のメンバーで構成される当行のミリタリーERGであり、退役軍人、現役の軍関係者、その家族を支援しています。2025年に、軍の伝統を称えるとともに、擁護と行動を促進するため、オリジナルのBlue Brigadeコインを製作しました。ERGは軍人感謝月間に実施された「Heroes Among Us」をはじめ、U.S. VETSとのボランティア活動、ハワイに新たに移り住んだ軍関係者の家族を対象とした文化的つながりを育むプログラムなどを通じて、軍関係者への敬意と支援を示しました。

上から時計回り：2025年、過去最大規模となる47名の大学生をサマー・インターンとして迎え入れ/ダウンタウンのタワーで開催されたバイクセールに参加する行員のChad HashimotoとJane Bugarin/Nā 'Ōiwi Aloha ERG主催のワークショップでレイ作りを学ぶ行員のAmy NgoとMaria Canoy/Blue Brigade ERGの共同議長 Eddie Quanが、第442連隊戦闘団の退役軍人であるTakahashi Manago博士にカスタム・コインを贈呈。



- ▶ 当行のネイティブ・ハワイアンERGであるNā 'Ōiwi Alohaは、ウェルビーイングと文化的知識に焦点を当てた四半期ごとの集いを開催しました。「Mana'o & Māmakī」や「E 'Ōlelo Hawai'i Kākou Hana Hou!」などのプログラムを通じ、文化理解と学びを深めています。Kumu Kahanuola Solatorioをゲストスピーカーに迎えました。その他の主な取り組みとしては、キング・カメハメハを称えるレイ奉納式のために全長30フィートのレイを制作したほか、800年の歴史を持つ養魚池の再生を支援するため、パエパエ・オ・ヘエアでのボランティア活動に参加しました。
- ▶ LGBTQIA+の従業員リソース・グループ(ERG)であるRainBOHは、参加者数が約200名に増え、メンバー数は前年から2倍以上となりました。メンバーは四半期ごとのイベント「Connects」を開催したほか、島々で行われた4つのプライド・パレードおよびフェスティバルに参加しました。また、ホノルルAIDSウォークやレインボー・フィルム・フェスティバルなどのイベントを通じて、コミュニティへの支援活動にも取り組みました。
- ▶ **Women Inspired**は、「Coffee and Connect」シリーズをはじめ、月経用品キットを支援するMa'i Movementの物資提供ドライブ、Dress for Successへの衣料品寄付活動などを通じて、つながりとエンパワーメントを育んできました。また、今年は「バランスと大胆さを身につける」をテーマに、Aloha United Wayの社長兼CEOであるMichelle Bartellを基調講演者に迎えた年次の半日フォーラムを開催しました。

9月のハワイ歴史月間を記念し、ネイティブ・ハワイアンの従業員リソース・グループ(ERG)であるNā 'Ōiwi Alohaのメンバーおよび支援者が集いました。

教育機会の拡充

当行のカレッジ・アシスタンス・プログラム(CAP)は、行員が大学を卒業する目標を達成できるよう支援する人気の高い制度です。5月に、2名の行員がシャミナード大学で学士号を取得し、プログラム開始以来の卒業者数は累計27名となりました。当行は、CAPを通じて、行員の授業料および教育関連費用として累計240万ドル超を投資してきました。2026年に本プログラムの10周年を迎えることを楽しみにしています。

また、当行はサマー・インターン・プログラムおよびカレッジ・メンタープログラムを通じて、次世代のプロフェッショナルの育成にも取り組んでいます。本年は過去最大規模となり、6月から8月にかけて、47名の学生が29の部門に参加しました。地元大学の学生と当行行員とのつながりを築くカレッジ・メンタープログラムでは、春学期に8名、秋学期に10名の学生を受け入れ、実社会に即したキャリアの知見や専門的な助言を提供しました。

人材の育成

学習および能力開発への投資は、当行の企業文化における重要な柱であり続けています。当行は、行員一人ひとりがキャリアとスキルを成長させられるよう、年間を通じて多様な機会を提供してきました。

- ▶ **顧客エクスペリエンス(CX)推進プログラム**：本プログラムは、3段階の発展的な学習レベルを新たに導入し、当行のCX戦略と連動した専門研修として拡充されました。研修内容には、共感マッピング、カスタマー・ジャーニー・マッピング、ペルソナ・アクティベーションに加え、リーダーシップ職向けの認定制度が含まれています。

- ▶ **行員メンタリング・プログラム**：Women InspiredのERGが主導する本プログラムでは、助言を求める行員と、職場におけるメンターとして支援する行員を結び付け、相互の成長とキャリア形成を後押ししています。
- ▶ **リーダーシップ・エクセレンス・フォーラム(LXF)**：リーダーシップ・カウンシルのメンバーが一堂に会し、有機的成長、リスク管理、AIを活用したリーダーシップなどの主要テーマについて深度のあるセッションを行いました。
- ▶ **ラーニング&キャリア・エキスポ**：10月に、4回のセッションから成るラーニング&キャリア・エキスポを開催しました。各セッションでは、事業部門、行員リソース・グループ(ERG)、AI開発センターの紹介に加え、多様なキャリアパスや能力開発リソースについて学ぶ機会を提供しました。
- ▶ **新入行員オリエンテーション**：新入行員および新任リーダー向けに刷新したオンボーディング・プログラムでは、役割に円滑に移行できるよう個別に最適化された体験を提供しました。早期の定着を促進するとともに、長期的なエンゲージメントの構築を支援しています。

次世代リーダーの育成

Pathways to Professional Excellence (PPE)は、マネジャーが推薦した行員で構成される、評価の高いリーダーシップ開発プログラムです。

第20期の開催を祝して

38名の参加者

27部門を代表

2007年以降、
約500名が参加

2025年のプログラムは7月から12月まで実施





バンク・オブ・ハワイ
カレッジ・アシスタンス・プログラム

27名の卒業生

240万ドルの無償授業料総額

2016年のプログラム開始以来



「突拍子もないアイデアを思いつくと、すぐに誰かのところへ駆け込んだり、電話をかけたりします。とんでもない話なのに、皆が驚くほど早く耳を傾けてくれるんです。そして、それが現実になる。牧場になり、店になるんです。」

— WAYNE MIRANDA

MIRANDA COUNTRY STORE, INC.

WAYNE MIRANDA、オーナー、
社長兼ゼネラルマネージャー

JULIE DEMELLO、副社長兼オフィスマネージャー

DAMIEN DEMELLO, JR.、
オペレーションマネージャー

DUSTY MIRANDA、倉庫マネージャー

Miranda Country Storeは1989年以来、ハワイ島の牧場主や農業従事者を支え続けてきました。規模の大小を問わず、事業を円滑に運営するために必要な製品と専門知識を提供しています。複数世代にわたって受け継がれてきた家族経営の同社は、島の農業に不可欠な資材、サービス、地域に根差した知見を提供しています。ハワイ島でも屈指の品ぞろえを誇る飼料・農業資材店として広く知られており、飼料、フェンス、肥料から、馬具や牧場用機器に至るまで、幅広い商品を取り扱っています。

1900年にまでさかのぼるハワイの牧畜の歴史に深く根差し、ミランダ家の歩みは、Wayneの祖父がフェンス請負業者として、また島で最初期の鞍職人として活動していたことから始まりました。動物科学を専門とするWayneは、子どもたちであるDustyとJulieが店を手伝いながら、家族と共に事業を築き上げてきました。現在では、DustyとJulieが自らの子どもたちを店で育てながら、Wayneと肩を並べて働いています。

MIRANDACOUNTRYSTORE.COM

Miranda Country Storeのケアアウ倉庫にて、Wayne MirandaとJulie DeMello。









「正直なところ、バンク・オブ・
ハワイの助言と信頼がなければ、
これほど迅速に住宅を提供する
ことはできなかったでしょう。」

— PAUL LLAM

LAM CAPITAL LLC

PAULとSUSAN LAM

プリンシパル・コーオーナー

2021年に設立されたLam Capital LLCは、ホノルルを拠点とする不動産開発会社で、州のビル7プログラムを活用した手頃な価格の住宅の開発に注力しています。2030年までに1,000戸の手頃な価格の住宅を供給することを目標に掲げ、これまでに3件のプロジェクトを完了させ、現在は別の4件が建設中、さらに10数件が計画段階にあります。オアフ島の都市中心部における高品質な集合住宅の新築を専門とし、歩きやすく活気ある街区の創出を通じて住宅不足の緩和に取り組んでいます。世代を超えて地域の家族にとって意義ある未来を提供することに強い情熱を注いでいます。

LAM-CAPITAL.NET

結婚50周年を祝うPaulとSusie Lam、自宅にて。

「バンク・オブ・ハワイは、私たちが
将来に向けた基盤を築くうえで、
本当に大きな支えとなってくれました。
退職後もコミュニティのために活動を
続けられるようになっただけでなく、
これから先の世代にわたって、
家族の未来を整えることができたの
です。」

— JOSEPH HANLEY

JOSEPH と DIANA HANLEY

Joseph Hanley, Jr.は、Interpacific Motors Inc.の社長として、ハワイ島にあるオーキッド・アイル・オート・センターのヒロおよびカイルア・コナ両拠点の運営を統括してきました。妻のDianaは、カスタマー・リレーションシップ・マネージャーとして顧客対応を主導しました。二人のリーダーシップと従業員一人ひとりの努力によって、同社はコミュニティへの強い責任感に支えられた信頼される自動車販売・サービス企業としての評価を確立しました。

オーキッド・アイル・オート・センターは、1968年にJosephの父が家族とともに島へ移り住んだことをきっかけに、50年以上にわたり家族経営で運営されてきました。ディーラーの所有権は、最終的にJosephに引き継がれました。Hanley家は長年にわたり、コミュニティへの寛大な貢献で広く知られる存在となりました。活動には、イースト・ハワイにおけるフレンズ・オブ・ザ・チルドレンズ・ジャスティス・センターを支援する人々を結びつける取り組みも含まれます。

2024年に、同社の売却に伴いHanley夫妻は正式に引退し、旅行や家族との充実した時間、コミュニティへの奉仕に重点を置いた新たなライフスタイルを歩み始めました。

ハワイ島ヒロの故郷にて、JosephとDiana Hanley。





連結損益計算書

バンク・オブ・ハワイ・コーポレーションおよびその子会社（1株当たりの額を除き、単位：千ドル）

12月31日終了年度	2025年	2024年
受取利息		
貸出金・リース債権利息および手数料	\$ 667,506	\$ 653,615
投資有価証券収益		
売却可能分	114,027	89,705
満期保有分	78,387	85,515
現金および現金同等物	23,408	30,701
その他	4,495	4,215
受取利息合計	887,823	863,751
支払利息		
預金	324,235	368,764
買戻条件付売却有価証券	2,227	4,608
その他負債	23,822	23,799
合計支払利息	350,284	397,171
純受取利息	537,539	466,580
貸倒引当金	11,500	11,150
貸倒引当金控除後純受取利息	526,039	455,430
非利息収入		
手数料、為替およびその他のサービス料金	56,337	57,236
信託および資産管理	49,319	47,485
預金口座のサービス料金	33,582	32,430
銀行保有生命保険	14,764	13,568
確定年金および保険	5,211	5,436
住宅金融バンキング	3,660	4,109
投資有価証券収益（損失）（純額）	(23,395)	(7,507)
その他	39,612	19,772
合計非利息収益	179,090	172,529
非利息経費		
給与および諸給付	248,772	232,564
純賃料	42,019	42,084
純設備費	40,501	40,886
データプロセッシング	21,985	19,540
専門家手数料	16,231	19,319
FDIC保険	11,168	17,850
その他	62,471	57,865
合計非利息経費	443,147	430,108
法人所得税引当額控除前収入	261,982	197,851
法人所得税引当額	56,080	47,857
当期純利益	\$ 205,902	\$ 149,994
優先株式配当	21,077	12,644
普通株主に帰属する当期純利益	\$ 184,825	\$ 137,350
普通株1株当たり基本利益	\$ 4.67	\$ 3.48
普通株1株当たり希薄化後利益	\$ 4.63	\$ 3.46
1株当たり配当	\$ 2.80	\$ 2.80
基本加重平均普通株式数	39,618,830	39,450,737
希薄化後加重平均普通株式数	39,934,431	39,700,388

前期情報の一部には、今期決算と一致するよう再分類されたものもあります。

連結財務諸表（これに関する独立登録会計事務所の報告書を含む）については、2025年12月31日終了年度のForm 10-Kによる年次報告書をご参照ください。

連結貸借対照表

バンク・オブ・ハワイ・コーポレーションおよびその子会社（1株当たりの額を除き、単位：千ドル）

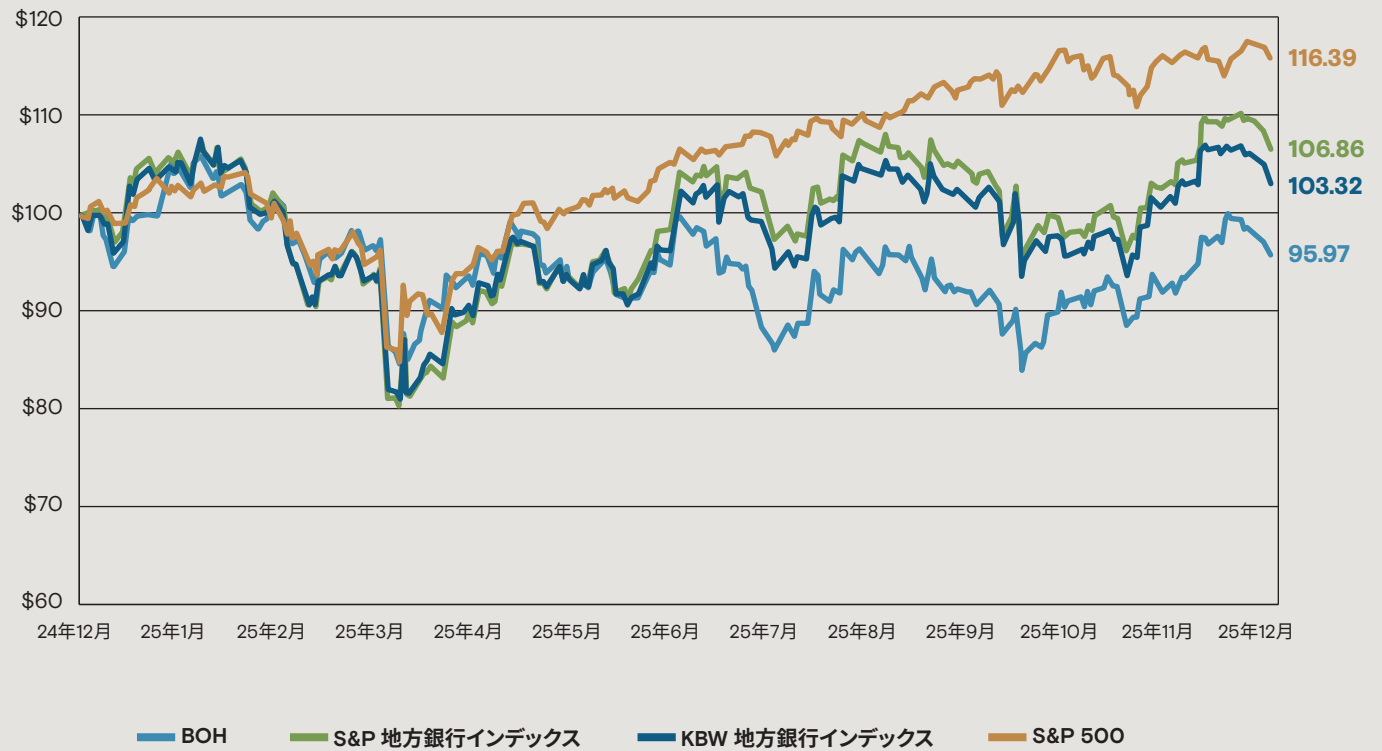
12月31日現在	2025年		2024年	
資産の部				
現金および現金同等物	\$	946,520	\$	763,571
投資有価証券				
売却可能分		3,510,652		2,689,528
満期保有分（時価3,651,966ドルおよび3,820,882ドル）		4,245,681		4,618,543
売却目的貸出金		4,369		2,150
貸出金とリース債権	\$	14,082,050		14,075,980
貸倒引当金		(146,766)		(148,528)
貸出金とリース債権（純額）		13,935,284		13,927,452
動産・不動産（純額）		199,747		184,480
オペレーティングリース使用权資産		83,424		80,165
未收受取利息		69,899		66,367
モーゲージサービス権		17,455		19,199
営業権		31,517		31,517
銀行保有生命保険		499,795		481,184
その他資産		632,021		736,958
資産合計	\$	24,176,364	\$	23,601,114
負債の部				
預金				
非利付き預金	\$	5,755,371	\$	5,423,562
利付き預金		3,910,952		3,784,984
貯蓄		8,741,090		8,364,916
定期		2,781,082		3,059,575
合計預り金		21,188,495		20,633,037
買戻条件付売却有価証券		50,000		100,000
その他負債		558,176		558,274
オペレーティングリース負債		92,402		88,794
未払退職給付		20,139		23,760
未払利息		22,370		34,799
その他負債		393,570		494,676
負債合計		22,325,152		21,933,340
株主資本				
優先株（シリーズA、額面0.01ドル、授権株式数180,000株、発行済かつ流通株式数）		180,000		180,000
優先株（シリーズB、額面0.01ドル、授権株式数165,000株、発行済かつ流通株式数）		165,000		165,000
普通株式（額面0.01ドル、授権株式数 500,000,000株、 発行済／残高：2025年12月31日時点 - 58,780,253株 / 39,725,698株、 および2024年12月31日時点 - 58,765,907株 / 39,762,255株）		587		585
資本剰余金		664,781		647,403
累積その他包括的損失		(244,438)		(343,389)
利益剰余金		2,205,707		2,133,838
自己株式の原価（株数：2025年12月31日時点 - 19,054,555株、 および2024年12月31日時点 - 19,003,609株）		(1,120,425)		(1,115,663)
株主資本合計		1,851,212		1,667,774
負債及び株主資本合計	\$	24,176,364	\$	23,601,114

前期情報の一部には、今期決算と一致するよう再分類されたものもあります。

連結財務諸表（これに関する独立登録会計事務所の報告書を含む）については、2025年12月31日終了年度のForm 10-Kによる年次報告書をご参照ください。

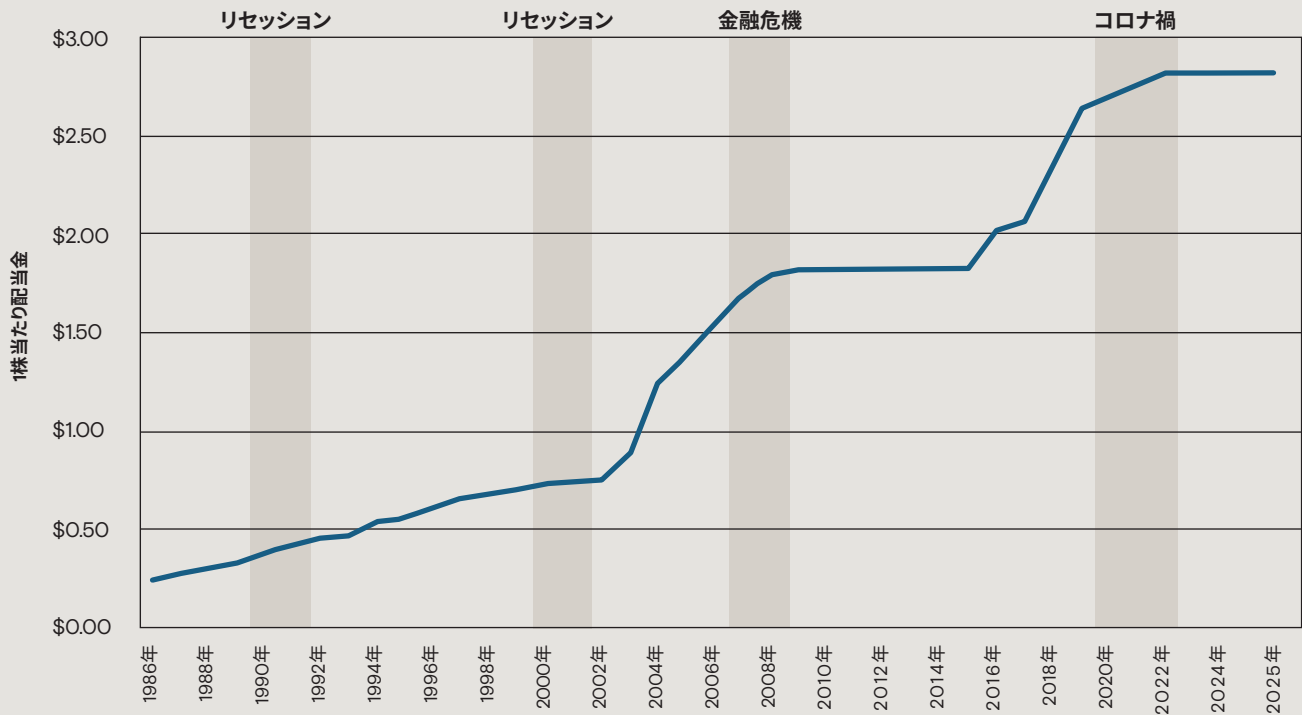
株価の相対的パフォーマンス

バンク・オブ・ハワイ・コーポレーション (2025年12月31日現在)



継続的な配当金の支払い

バンク・オブ・ハワイ・コーポレーション



注記: 株式分割のために調整された過去の配当



エグゼクティブコミッティおよび オペレーティングコミッティ

2025年12月31日現在

エグゼクティブコミッティ

バンク・オブ・ハワイのエグゼクティブコミッティは銀行の主要部門を担当しており、その全体的な戦略と業績について説明責任を負います。

Peter S. Ho
会長兼最高経営責任者

James C. Polk
社長兼最高バンキング責任者

Marco A. Abbruzzese
副会長兼ウェルスマネジメント
担当シニア・エグゼクティブ・
ディレクター

Matthew K.M. Emerson
副会長兼個人向け銀行業務
責任者

Patrick M. McGuirk
副会長兼最高管理責任者、
法務顧問および事務部長

Taryn L. Salmon
副会長兼最高情報・
業務責任者

Bradley S. Satenberg
副会長兼最高財務責任者

S. Bradley Shairson
副会長兼最高リスク責任者

Guy C. Churchill
シニア・エグゼクティブ・
バイスプレジデント兼
最高信用責任者

Sharlene R. Ginoza-Lee
シニア・エグゼクティブ・
バイスプレジデント兼
最高人事責任者

Kristine R. Stebbins
シニア・エグゼクティブ・
バイスプレジデント兼
最高マーケティング責任者

縦の列、1段目：Peter S. Ho、Taryn L. Salmon、Bradley S. Satenberg 2列目：
Sharlene R. Ginoza-Lee、Matthew K.M. Emerson、Kristine R. Stebbins 3列目：
James C. Polk、Patrick M. McGuirk、Marco A. Abbruzzese、S. Bradley
Shairson、Guy C. Churchill

オペレーティングコミッティ

バンク・オブ・ハワイのオペレーティングコミッティは、各事業セグメントの企業スタッフ部門を代表する20名のリーダーで構成され、銀行の日々の業務を担当しています。

Eric Chen
エグゼクティブ・バイスプレジ
デント兼エンタープライズ・
データ&ポリシー・ガバナンス担当
エグゼクティブ・ディレクター

Ryan A. Field
エグゼクティブ・バイスプレジ
デント兼最高情報セキュリティ
責任者およびITリスク管理責任者

Natalie P. Fogle
エグゼクティブ・バイスプレジ
デント不動産・施設担当
エグゼクティブ・ディレクター

Jill F.S. Higa
シニア・エグゼクティブ・バイス
プレジデント兼支店銀行業務・
コンタクトセンター担当シニア・
エグゼクティブ・ディレクター

Torrie M. Inouye
エグゼクティブ・バイスプレジ
デント兼最高データ責任者

Joy Ishiara
エグゼクティブ・バイスプレジ
デント兼ブランド・統合マーケ
ティング担当エグゼクティブ・
ディレクター

Vance H. Jones
エグゼクティブ・バイスプレジ
デント兼ITおよびオペレーション
担当ビジネスリスク責任者

Roger J. Khlopun
エグゼクティブ・バイスプレジ
デント兼最高投資責任者および
投資運用サービス担当
ディレクター

Jennifer M. Lam
シニア・エグゼクティブ・バイス
プレジデント兼コンプライアンス
責任者兼信託責任者

Ryson I. Matsumura
エグゼクティブ・バイスプレジ
デント兼オペレーションズ・回収・
リカバリー担当エグゼクティブ・
ディレクター

Kimarie P. Matthews
エグゼクティブ・バイスプレ
ジデント兼AI開発センター担当
エグゼクティブ・ディレクター

James K.M. Moniz
エグゼクティブ・バイスプレジ
デント兼不動産担保貸付業務
担当エグゼクティブ・ディレクター

Lacey M. Nakagawa
エグゼクティブ・バイスプレジ
デント兼SOXプログラム担当
エグゼクティブ・ディレクター

Shauna M. Pantohan
シニア・バイスプレジデント兼
文化および従業員エクスペリ
エンス担当ディレクター

Michelle T. Sato
エグゼクティブ・バイスプレジ
デント兼預金戦略担当
エグゼクティブ・ディレクター

Dana S. Takushi
シニア・エグゼクティブ・バイス
プレジデント兼プライベートバンク
担当シニア・エグゼクティブ・
ディレクター

Melissa A. Torres-Laing
シニア・バイスプレジデント兼
コーポレート・コミュニケーション
担当ディレクター

Aretina C. Trepczyk
エグゼクティブ・バイスプレジ
デント兼企業・オペレーショナル・
リスク担当エグゼクティブ・
ディレクター

Luke W.T. Yeh
シニア・エグゼクティブ・バイス
プレジデント兼コンシューマー・
レンディング担当シニア・
エグゼクティブ・ディレクター

Dirk K. Yoshizawa
シニア・エグゼクティブ・バイス
プレジデント兼コマース・
バンキング・グループ・
マネージャー



取締役会、前列左から：Raymond P. Vara, Michelle E. Hulst, Peter S. Ho, Alicia E. Moy, Kent T. Lucien 後列左から：
John C. Erickson, Elliot K. Mills, Suzanne P. Vares-Lum, Dana M. Tokioka, Victor K. Nichols, Robert W. Wo, Joshua D. Feldman

2025年バンク・オブ・ハワイ 取締役会

バンク・オブ・ハワイ・コーポレーションおよび
バンク・オブ・ハワイ

2025年12月31日現在

Peter S. Ho

会長兼最高経営責任者、
バンク・オブ・ハワイ・コーポレーション
およびバンク・オブ・ハワイ

Raymond P. Vara

リード独立取締役
社長兼最高経営責任者
ハワイ・パシフィック・ヘルス

John C. Erickson

元副会長、ユニオンバンク

Joshua D. Feldman

社長兼最高経営責任者、
トリ・リチャード・リミテッド

Michelle E. Hulst

ストラテジック・アドバイザー
(GumGum)

Kent T. Lucien

元副会長兼最高戦略責任者、
バンク・オブ・ハワイ・コーポレーション
およびバンク・オブ・ハワイ

Elliot K. Mills

最高経営責任者、(CEO)／
ハワイ・ホスピタリティ・グループ

Alicia E. Moy

社長兼最高経営責任者、
ハワイ・ガス

Victor K. Nichols

会長、
メイク・ア・ウィッシュ・
インターナショナル

Dana M. Tokioka

副社長、
アトラス・インシュアランス・
エージェンシー (Marsh & McLennan
Agency LLC傘下の企業)

Suzanne P. Vares-Lum

ディレクター、
ダニエル・K・イノウエ・アジア太平洋
センター安全保障研究センター

Robert W. Wo

オーナー兼取締役、
C.S.ウォー・アンド・サンズ・リミテッド

株主情報

将来の見通しに関する記述

本報告書は、1995年証券民事訴訟改革法に定義する意味における「将来の見通しに関する記述」を含んでいます。それらの記述は、過去または現在の実事と厳密には関連していないという事実により識別可能です。また、それらの記述は特に、当行のサービス地域およびその他の地域において予想される経済環境および事業環境、信用力ならびに将来の期間における財務上および事業上のその他事象、当グループの将来の業績および財政状態、当行の事業戦略および計画、ならびに当行の目標および将来の業務に関する記述を含んでいる可能性があります。「思う」、「予想する」、「期待する」、「意図する」、「目標とする」などの表現は、将来の見通しに関する記述を特定することを目的としていますが、そのような記述を特定する排他的手段ではありません。また、当行は、米国証券取引委員会（「SEC」）に提出または提供したその他の文書においても将来の見通しに関する記述を行う場合があります。さらに、当行経営陣は、アナリスト、投資家、メディア関係者その他に対して将来の見通しに関する記述を口頭で行う場合があります。読者は、これらのリスクと不確実性を考慮したうえで、将来の見通しに関する記述を実際の結果の予測として過度に信頼すべきではありません。

当行の将来の見通しに関する記述は、数多くの前提事項に基づいており、そのいずれも後に不正確であると判明する可能性があり、実際の結果や業績は、様々なリスクおよび不確実性が原因で予測された結果と大きく異なる可能性があります。ここで言うリスクや不確実性には次に挙げるものが含まれますが、これらのみに限定されません。(1) 当社の事業は、地域の事業環境および経済状況、特にハワイ州、グアムおよびその他の太平洋諸島の状況に大きく左右されます。(2) 当社の融資ポートフォリオは主として不動産を担保としており、不動産市場の低迷は当社の経営成績に悪影響を及ぼす可能性があります。(3) 連邦政府の規模、構造、権限および運営に関する重大な変更、連邦政府の長期的な業務停止、その影響、米国の経済政策の変更、ならびにこれらの変更の可能性に関する不確実性は、経済的混乱を引き起こし、当社の事業、経営成績および財政状態に悪影響を及ぼす可能性があります。(4) 高インフレが長期間継続した場合、地域経済および当行の財務パフォーマンスにリスクをもたらす可能性があります。(5) 気候変動およびそれに対する政府の対応は、当行および当行の顧客に重大な悪影響を及ぼす可能性があります。(6) 銀行業界における混乱、不安定性、または破綻は、当社に悪影響を及ぼす可能性があります。(7) ハワイ州における連邦政府の国防支出が減少した場合、ハワイおよび太平洋諸島の経済に悪影響を及ぼす可能性があります。(8) 金利の変動は、当社の経営成績および資本に悪影響を及ぼす可能性があります。(9) 当社の信用損失引当金が、融資ポートフォリオに内在する損失リスクを十分に反映できない、または損失を吸収するのに不十分である可能性があります。(10) 消費者保護に関する取り組みや、差し押さえ手続に関連する裁判所の判断は、債権者としての当社の救済手段に影響を与える可能性があります。(11) 資本市場の変化は、運用資産残高の水準や、その他の手数料収入型サービスに対する需要に重大な影響を及ぼす可能性があります。(12) 親会社の流動性は、当行からの配当に依存しています。(13) 親会社が今後も現金配当を継続的に宣言する保証はありません。(14) 財政政策および金融政策の変更は、当社の収益性および流動性に重大な影響を及ぼす可能性があります。(15) 金融サービス業界に影響を与える立法および規制上の取り組み（新たな解釈、制限、要件を含む）は、当社の事業に不利益をもたらす可能性があります。(16) 所得税法およびその解釈、または会計基準の変更は、当社の財政状態または経営成績に重大な影響を及ぼす可能性があります。(17) 当社または第三者ベンダーおよびその他のサービス提供者の業務システム、情報システム、またはインフラにおける障害や侵害は、財務的損失、顧客の喪失、または当社の評判の毀損につながる可能性があります。(18) サイバー攻撃を含む情報システムのセキュリティ侵害や中断（加盟店や第三者ベンダー関連のものを含む）は、当社の事業を妨げ、機密情報または専有情報の漏えい、不正使用、評判の低下、または財務的損失をもたらす可能性があります。(19) 当社の住宅ローン銀行業務からの収益は、大きな変動に見舞われる可能性があります。(20) 当社が義務を果たせない場合、またはサービシング基準が変更された場合、住宅ローンサービシング事業は影響を受ける可能性があります。(21) 表明保証条項に関連するリスクは、当社の住宅ローンサービシング事業に影響を及ぼす可能性があります。(22) 住宅ローンのサービシング活動に関連するリスクは、当社の経営成績に悪影響を及ぼす可能性があります。(23) 特定の資産および負債を公正価値で計上する必要性は、当社の財務成績に悪影響を及ぼす可能性があります。(24) ハワイおよび太平洋諸島における自然災害や悪天候は、不動産価値および当社の事業運営に悪影響を及ぼす可能性があります。(25) 競争の激化は、当社の事業に悪影響を及ぼす可能性があります。(26) 当社の将来の業績は、技術変化に適時に対応できるかどうか依存します。(27) AIの開発および利用には、当社の事業に悪影響を及ぼし得るリスクおよび課題が伴います。(28) 否定的な世論は、当社の評判を損ない、収益および流動性に悪影響を及ぼす可能性があります。(29) 当社は一定の訴訟の当事者であり、これに関連する費用は当社の経営成績に悪影響を及ぼす可能性があります。(30) 当社の業績は、事業運営に必要な主要人材および高度な技能を有する人材を確保・維持できるかどうか依存します。(31) 他の金融機関の健全性は、当社の財政状態または経営成績に悪影響を及ぼす可能性があります。(32) 当社は、FDIC保険料の増加を経験しています。

実際の業績が、当社の過去の実績、ならびに当社の見通しおよび予測と大きく異なる結果となる可能性のあるリスクおよび不確実性には、本年次報告書（Form 10-K）の第1A項『リスク要因（Risk Factors）』、第7項『財政状態および経営成績に関する経営者の討議および分析（Management's Discussion and Analysis of Financial Condition and Results of Operations）』、ならびに本年次報告書およびその後提出される米国証券取引委員会（SEC）への提出書類のその他の箇所に記載されている事項が含まれますが、これらに限定されるものではありません。さらに、いかなる将来の見通しに関する記述も作成日時時点のものに過ぎず、当行は連邦証券法上要請される場合を除き、記述作成日以降の事象や状況を反映し、または予期せぬ事象の発生を反映して将来の見通しに関する記述を更新または修正する義務を負いません。

バンク・オブ・ハワイ・コーポレーションは、ハワイおよび西太平洋地域の企業、消費者、政府にサービスを提供する独立した地域金融サービス会社です。同社の主要子会社であるバンク・オブ・ハワイは、1897年に設立されました。バンク・オブ・ハワイ・コーポレーションの詳細については、同社ウェブサイト www.boh.com をご覧ください。

本社

バンク・オブ・ハワイ・コーポレーション
130 Merchant Street
Honolulu, Hawaii 96813

年次総会

株主年次総会が2026年4月24日（金）午前8時30分（ハワイ標準時間）に開催します。オンライン定時総会へのアクセス情報は、当行の2026年委任状フォームに記載されています。

名義書換代理人および登録代理人

Computershare
150 Royall Street, Suite 101, Canton, MA
02021

ニューヨーク証券取引所で上場されている

普通株式：BOH

バンク・オブ・ハワイ・コーポレーションの普通株式は、ニューヨーク証券取引所（ティッカー：BOH）に上場・取引されています。また、主な金融ニュースでは、通常「バンク・オブ・ハワイ」と呼ばれています。

配当金再投資および株式購入制度（DRP）

バンク・オブ・ハワイ・コーポレーションのDRPにより、既存株主は、株式の配当金を再投資、または、選択性の現金支払いにより、当行株式の普通株式を購入することができます。

個人がDRPに参加するためには、最低1株の株式を保有する必要があります。

株式は、投資購入日を最終日とする5取引日の平均に基づいて各月の10営業日目に購入されます。

株式購入の最低支払金額は25ドル、最高金額は四半期当たり5,000ドルです。

株式の購入および株券の保護預かりについて、手数料は発生しません。手数料はDRPの株式の売却により評価されます。

バンク・オブ・ハワイ・コーポレーションのDRPに関する詳細は、www.boh.com、またはComputershare に電話（1-888-660-5443 または+1 (312) 360-5184）することで入手できます。

問い合わせ

株式譲渡サービス、保有または配当金の再投資に関してご質問がある株主は、computershare に電話（1-888-660-5443）でお問い合わせください。受付時間は、米国中部標準時午前7時から午後5時までです。

財務情報についての質問がある投資家およびアナリストは、Chang Park（インベスターズリレーションズ・マネージャー）にお問い合わせください。

電話：1-808-694-8238

一般的なご質問については、

電話（1-888-643-3888）

または www.boh.com にお問い合わせください。



バンク・オブ・ハワイ・コーポレーション
P.O. BOX 2900
HONOLULU, HAWAII 96846

(.) 当行の会長、お客様、コミュニティ、
行員についての特集動画を含む
バンク・オブ・ハワイの2025年
年次報告書デジタルサマリーを
ご用意しました。
www.boh.com/annual-report
にてご覧いただけます。